

【バージョンアップ】 統合開発環境 e² studio 2025-04

R20TS1118JJ0101
Rev.1.01
2025.5.16

概要

統合開発環境 e² studio を 2025-01 から 2025-04 へバージョンアップします。

主な機能改善・変更は以下になります。

- Eclipse/CDT 環境のアップグレード
- スマート・コンフィグレータの機能改善
- ビルダ、デバッグ機能の改善

製品の概要は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2studio>

1. アップデート対象バージョン

- e² studio 2020-04 から 2025-01 までの各バージョン

e² studio のバージョンは、e² studio のメニュー「ヘルプ」から、「e² studio について」を選択すると開くダイアログに表示されます。

2. バージョンアップ内容

主なバージョンアップ内容を以下に記します。詳細は、リリースノートをご参照ください。

リリースノートは e² studio 製品ページの「ドキュメント」に掲載されます。

(4月22日から公開予定)

<https://www.renesas.com/jp/ja/search?keywords=R20UT5645>

2.1 新規機能、機能改善

以下の機能につき改善および変更を行いました。

改善内容の詳細は前述のリリースノートの "What is new in 2025-04?" をご参照ください。

2.1.1 eclipse/CDT 環境のアップグレード

eclipse および CDT(C/C++ Development Tooling)の新バージョンが適用されます。

詳しくは以下の資料をご参照ください。

e ² studio バージョン	2025-01	2025-04	
eclipse	4.33(2024-09)	4.34(2024-12)	New and Noteworthy
JRE(JustJ)	21.0.4	21.0.6	JustJ JREs
OpenJFX	21.0.2	21.0.2	OpenJFX
CDT	11.6.1	11.6.1	CDT New & Noteworthy

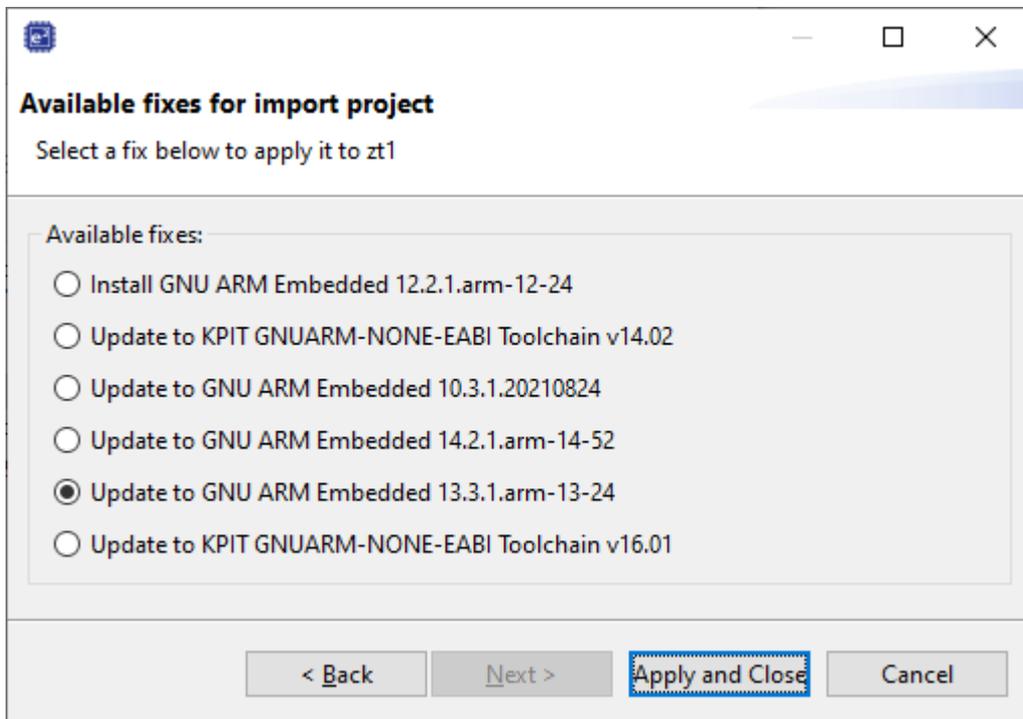
2.1.2 スマート・コンフィグレータの機能改善

- 以下のバージョンのスマート・コンフィグレータに対応しました。コンフィグレータのバージョンは「概要」タブで確認できます。機能の詳細はスマート・コンフィグレータのリリースノートをご参照ください。
 - ✧ スマート・コンフィグレータ for RX V2.25.0
「コンポーネント」タブ内で設定項目を検索できるようになりました。
 - ✧ スマート・コンフィグレータ for RL78 V1.13.0
デバイス情報を更新しました。RL78/L13 のコード生成機能が Linux および macOS 版で利用可能になりました。
 - ✧ スマート・コンフィグレータ for RISC-V MCU V1.4.0
機能改善を行いました。

2.1.3 ビルダの機能改善

以下の改善を行いました。

- プロジェクトインポート時にプロジェクトのツールチェーンや FSP バージョンがインポート先の環境にない場合の対処方法について選択肢を分かり易く表示するように改善しました。



- RISC-V MCU デバイスのプロジェクト作成機能で CMake プロジェクトの作成が可能になりました。作成された CMake プロジェクトは Renesas Build/Debug Extensions 適用済の Visual Studio Code 環境で利用可能です。
- RA FSP のプロジェクト作成機能が FSP 6.0 から利用可能な Solution Project に対応します。Solution Project で利用可能な新機能については FSP リリース後に RA FSP の Web ページで御確認ください。

2.1.4 デバッガの機能改善

以下の改善を行いました。

- デバッガの「デバッグ」ビュー内に RTOS のスレッドをスレッド ID 別に表示する機能が RL78 の FreeRTOS プロジェクトでも利用可能になりました。
- RZ デバッガの ThreadX(Azure RTOS)リソース表示機能を AArch64 のコアでも利用可能になりました。
- RH850 デバッガの FreeRTOS のリソース表示がマルチコアデバイスでも利用可能になりました。
- RH850 デバッガの GDB バージョンを 12.1 にアップグレードしました。この GDB は Python 3 に対応します。
- RH850 デバッガの Performance Analysis ビューで時間計測機能を RH850/U2B 以降のデバイスでも利用可能になりました。

3. アップデート方法

e² studio の製品ページ(下記の URL)からインストーラをダウンロードし、インストールを行ってください。(2025-04 は 4 月 22 日から公開予定)

<https://www.renesas.com/e2studio>

インストーラは「ドキュメント&ダウンロード」の Downloads 欄内に掲載されております。

注意 1 : e² studio 2024-07 またはそれ以前(Java 17 以前)のバージョンに対しては「**アップグレード**」による**更新はできません**。「アップグレード」を使わず新しい場所にインストールしてください。

インストール先のフォルダパスに全角文字、半角カナ文字、および“(アンダースコア)以外の記号が含まれないようにしてください。

注意 2 : 本製品の Windows 版は 64 ビット版 Windows OS で使用できますが 32 ビット版の Windows OS では動作しません。

注意 3 : FSP/SSP をサポートするデバイスファミリおよびデバイスグループ(RA, RZ/T2x, RZ/N2x, RZ/A2x, RZ/A3x, RZ/G2x, RZ/G3x, RZ/V2x and Renesas Synergy™)については、ソフトウェアパッケージが同梱されたインストーラがご利用いただけます。

ソフトウェアパッケージやインストーラは以下のサイトから探すことができます。

ソフトウェア - ミドルウェア, ドライバ, OS:

<https://www.renesas.com/design-support/software>

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Apr.20.25	-	新規発行
1.01	May 16.25	2	2.1.2 章 : スマート・コンフィグレータの RH850 の記述を削除、RISC-V MCU の記述を追記

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りが無いことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。